



2018年7月8日 御撰読御講の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

大聖人は開目抄に、「眼あらば経文に我が身をあわせよ」(御書568頁)と仰せです。ここで仰せの眼とは、「心」・「魂」という意味を持ちます。すなわち、法華経に我が心を合わせる信心と生活が大事な旨をご教示です。末法の今、法華経は大聖人の御書と血脈付法の御歴代上人の御指南を通してのみ、その真意を得ていくことができます。見ているように観ていないのが私たちの眼であり心です。高いものを低く、清いものを汚し、弱いものより強いものに迎合し、自分中心の生き方に終始しないよう、真実の心の眼を養うことが肝要です。そのためには、御本尊に向かう真剣な勤行と唱題が不可欠です。そして御講での御書を通してする住職の法話を心に納め、信心を高め、広宣流布のお役に立ち上がってまいりましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

宗門では、日寛上人御書写の真正の御本尊を「ニセ本尊」といっているのではありません。御法主上人の許可なく、勝手に複製したものを「ニセ本尊」と呼んでいるのです。学会が複製して作ったものは、姿・形は日寛上人の御真筆とそっくりであっても、大聖人の「魂」が写されておらず、「日寛上人の御本尊」とはいえないものです。また学会は日寛上人の御本尊から「大行阿闍梨 本證坊日證」という授与書きを勝手に抹消し変造しており、これが日寛上人のお心に背く大謗法であり、かつ日寛上人のお徳を汚す大罪であることは間違いありません。お金のニセ札は法律で罰せられますが、「ニセ本尊」は仏法破壊の大罪として、必ず仏罰をこうむることを知って下さい。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

私たちの死後の生命は大宇宙の生命とともに存在し、縁によってこの世に生じます。そしてその肉体は、過去世の業因をもとに形成されています。一生が終わるとその肉体は分解され、またもとの宇宙の物質(五大:地・水・火・風・空)へと戻ります。生命もまた大宇宙の生命と渾然一体となり、永遠に生死をくり返すのです。死後の生命は、過去世の業因によって十界のそれぞれの業を感じ、苦楽を得ていきます。特に苦しみや強い怨念、または執着心などは生きている人に感応することがあります。これを感応妙といいます。この感応は生きた人からも故人に影響を与えます。日蓮正宗の塔婆供養は感応妙という原理に基づき成仏の功德と境界を故人に与える慈悲の修行です。ぜひこの追善回向の儀に参加して下さい。

法遍寺 から大切な 皆様へ

2018年8月1日

日蓮正宗 年間方針

行動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏達成

功德の源泉

② みんなで声かけ御講参詣

罪障消滅と

折伏成就

③ 支部総登山で育成推進

心身浄化と

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料